



まいばら

まんすりー れぽーて

青年海外協力隊ボランティアとして 川瀬さんがスリランカへ

2年間スリランカで青年海外協力隊のボランティアとして活動することが決まった川瀬葉子さんが、6月25日に平尾市長を訪問しました。

川瀬さんは、スリランカの最北端の都市ジャフナに配属され、特産品であるパルメラ椰子を使った新商品の提案やマーケティング指導などに取り組む予定です。

大学の頃から、海外で働きたいと考えていた川瀬さんは、今回のスリランカでの取り組みが、自分がしたいと思っていた内容にぴったりだったこと、健康食品の商品開発やソフトウェアの輸入販売などこれまでの経験を生かせることから応募。消費者が見える業務に非常にやりがいを感じ、「自分が企画したものが店頭に並び、お客さんが買ってくれること、それが目に見えてわかることがうれしい。早く実現させたい」と意気込みを語る川瀬さん。この経験を生かし、帰国後は、海外への進出を検討している中小企業へのサポートがしたいという川瀬さんの活躍が楽しみです。



平尾市長は「この大きな決断が、長い人生の中でいい経験になると思う。市民を代表してエールを送ります」と激励しました。



地域の歴史探訪！

坂田小学校6年生が、学区内の4つの地域に分かれて、各地域の歴史を探ります。これは、総合学習として行われているもので、6月20日は世継区と舟崎区に児童らが訪れました。



世継区には21人が参加し、世継まちづくり委員会のメンバーから地域の歴史を学びました。まず蛭子神社で、世継の七夕伝説、七夕にまつわる星座などの説明を受けました。まちづくり委員会の手作り紙芝居「世継の七夕伝説」が始まると、児童らはロマンチックな話にひたっていました。その後、願い事を書いた短冊を境内の笹の葉に飾り、カナボウや天野川の見学に向かいました。

舟崎区には、17人が参加し、森政一さんの案内で区内を回りました。地元の神社やお寺、遺跡を訪れ参拝の作法や歴史、ゆかりある後鳥羽上皇について話を聞き、児童らは熱心にメモを取っていました。森さんは、地域の歴史を語れる人になってほしいと児童らにメッセージを伝えました。



21日には宇賀野区、22日には顔戸区を訪れ、それぞれの地域で学んだことを1人ひとりが地域のパンフレットにまとめます。

世界陸上出場選手に学ぶ！



6月25日春照小学校グラウンドで体力づくり体験教室が開催され、春照小学校の全校児童と伊吹小学校の5、6年生が、世界陸上出場経験のある安井章泰さんから走り方の基本を学びました。

講師として招かれた安井さんは、2001年にカナダで開催された世界陸上エドモントン大会に100m日本代表として出場し、現在は高校の体育教諭。

この日の体験教室は2部に分けて開催され、上学年の部では、クラス代表の男女12人が、安井さんと距離10mのハンディをつけて50mを競走。児童は安井さんに追い抜かれないようにと懸命に走っていました。

その後児童らは、掛け声に合わせてスタートの姿勢を練習したり、丸めた紙くずを握って腕に余計な力が入らないように走るユニークな練習などで、早く走る秘訣を学びました。

授業終了後「楽しく教えていただき、走る自信ができました。いろいろなスポーツに生かしたい」と児童は安井さんにお礼を述べました。